

るなど、本市の魅力ある農畜水産物を広くPRし、所得向上につながる支援を継続してまいります。

『市民を守る』 複雑・多様化する災害への備え

災害に強いインフラ整備につきましては、市民の命と暮らしを守るため、市道や河川・水路の整備・改良を行ってまいります。

市道につきましては「社会資本整備総合交付金」や「インフラメンテナンス事業」など、国の補助金を最大限に活用しながら、防災工事や橋梁補修、歩道整備などを実施してまいります。

大規模災害時の避難対策としては、「二次避難所改修支援事業費補助制度」を創設し、一次避難所の充実を図ります。また、感染症対策についても強化を図ってまいります。女性の意見を取り入れることも重要であるため、避難所の開設や運営を担う方面隊、自主防災会の役員へ女性の登用を積極的

に呼び掛けてまいります。

緊急体制の維持・強化につきましては、消防力強化のために東遠地区消防と連携・協力し、専門知識を有する人材の育成に努め、消防組織体制の強化を図ります。さ

らに、災害時に救助隊や資機材の輸送ができる支援車を更新して、災害対応能力の向上につなげてまいります。

消防署とともに大きな役割を担う消防団につきましては、持続可能な再編計画を前倒して推進し、団員の待遇改善や負担軽減を図ることで、団員確保に努めてまいります。

『人がつながり、育つ』 自ら学ぶ子どもたち・ 高め合う市民への支援

子どもの学びの充実としましては、小中学校に整備された一人一台端末を効果的に活用するため、ICT支援員を配置するとともに、授業支援ソフトなどを導入し、児童・生徒の個別最適な学びの実現に努めてまいります。

人生における各ステージでの目指す姿と学びの場を示した「学びの航海図」によって、生涯学習を推進します。また、個人の学びを記録する「学びのパスポート」を活用してもらうことで、やりがいと楽しさが実感でき豊かな人生となるよう支援してまいります。

子育て応援につきましては、子どもを持つ世帯が安心して子育て

をすることができるよう、さまざまな経済的支援を行ってまいります。今後は、これらに加えてソフト面での子育て支援を充実してまいります。

一つ目としては、毎日自宅で子育てをされている保護者が、民間保育園に子どもを預けて出掛けることができる「リフレッシュ事業」を開始します。育児からひと時離れ、自分の時間を持つことで気分転換を図っていただき、改めて子どもに愛情を持って接してもらいたいと考えております。

二つ目は、これまで妊婦さんに受診の送迎支援として「タクシー券」を発行していましたが、対象サービスを拡大し、「子育て応援チケット」として助成券を発行いたします。子育て応援チケットは、「リフレッシュ事業」や「ヘルパー派遣」などにも利用することができ

『市民の利便性向上』 行政デジタル化の加速

令和3年度まで総務部財政課の所管であった「デジタル推進室」を新年度から「デジタル推進課」に格上げしました。これにより、「デジタル・トランスフォーメー

ション推進計画」を積極的に進めてまいります。

併せて、行政内部のデジタル化を加速させるため、情報統括責任者を補佐する人材を民間へ委託し、デジタル化推進施策への助言を受けるとともに、人材育成にも取り組んでまいります。

また、市民生活の利便性を高めるマイナンバーカードの普及を図るため、マイナンバーカードで応募できる「電子申請サービス利用促進キャッシュレスポイント付与事業」を実施してまいります。

『ゼロカーボンに向けて』 環境にやさしい社会の実現

御前崎市をけん引する立場から、環境負荷の削減に取り組むとともに、脱炭素社会の実現を目指すために研修会を実施し、職員の意識改革に努めてまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、新たに新エネルギー機器の導入に対する助成を事業所でも活用できるように枠組みを創設し、地球温暖化防止を推進してまいります。

皆さまから寄せられた期待にお応えするため、本年も市政運営に全力を傾注する所存です。